

前立腺癌の術後徐々に上昇していた PSA値が1/10に下がったケース

日本ホメオパシーセンター東京本部

日本ホメオパシーセンター熱海伊豆山

JPHMA認定ホメオパスNo.357

ZENメソッド修得認定No.0259

増田 敬子

主訴

- 58歳 男性
- 前立腺癌の術後PSA値が徐々に上昇してきているので、癌の転移を予防するためにもPSA値の上昇を止めて「0」に近い値にしたい。

症状

- 54歳の時に前立腺癌になり手術を受けるが、PSA値(前立腺特異抗原)が2年前から徐々に数値が上昇してきており、このまま上昇していくと癌の転移の可能性が出てくるといわれ心配

タイムライン

- 3歳：階段から転落
- 8歳：脱腸手術
- 18歳：バイク事故で肩骨折
- 20歳：バイク事故で肩骨折
- 35歳：バイク事故で全身打撲
- 37歳：原因不明で倒れる→副鼻腔に膿が滞留
- 38歳：バイク事故で全身打撲
- 42歳：膝半月板手術
- 49歳：鼻中隔湾曲症・副鼻腔炎手術、テニス肘と腰痛のため1か月に15回注射を打つ
- 54歳：前立腺癌になり手術

相談会_1回目（2024/10/6）

- 25歳ごろから首や肩のこりがある
- 40歳の時からぎっくり腰になることが増え、整形外科にて注射を打つ治療を受けたが、現在も痛い
- 喉がいがらっぽい→過去副鼻腔に膿がたまり手術
- 若いころから何度もバイク事故を起こしている
- 眠りが浅く、目が覚めると眠れない
- 高温多湿の職場で劣悪な環境での仕事で、上司や同僚から不条理なことをされるとショック
- 最近記憶力が劣った→ガスの消し忘れ、落とし物、確認不足など

相談会_ (2025/7/4)

The Bönninghausen Repertory

1295# 筋肉全般-締め付けられる(締め具や万力で締め付ける[圧搾する]ような)痛み

225# 首(および喉)-首-腹側(喉の外側と内側)

1012# 全般-炎症-粘膜の

840# 不眠-目覚める、いったん眠った後に(再び眠ることができない)

811# 記憶力-劣った(低下した、失った)

Remedy

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Bell.	5	19	4	4	4	3	4				
2	Lyc.	5	15	4	4	2	1	4				
3	Merc.	5	15	4	3	4	3	1				
4	Sulf.	5	14	3	1	4	3	3				
5	Calc.	5	14	4	3	3	2	2				
6	Sil.	5	14	3	2	3	4	2				
7	Sep.	5	14	4	2	3	3	2				

レメディー選択_ (2024/10/6)

朝 アルポMerc-sol.LM1(粘膜の炎症)

昼1 粒)紺屋が池の水30C(骨の病気をよくする)

昼2 粒)Syph.30C(バイク事故や手術など破壊傾向)

夜 アルポBell.LM4(炎症、痛み)

随時 液)サポート不条理(憎怒) +Oxyg.6C

+Zinc12.X +Sel12.X +Queb.6C

+逆さ燧の池の水6C(正しい細胞分裂や癌細胞
分裂抑制サポート)

液)ケブラコ(癌に合うためMTもご希望)

※2週間ごと4回のQX-SCIOセッションにて修正を実施

相談会_2回目(2024/11/24)

- 肩甲骨の下がムズムズする
- 腰や膝が痛くなってきた
→重いものを持つと悪化
- 23～3時に目が覚めるので、
トイレに行くと眠れなくなる
- 中指が真っ白になる
朝や寒いときに真っ白になる
指が取れてしまうのでは
ないかと心配



相談会_ (2024/11/24)

- 949# 全般-締め付けられる(締め具や万力で締め付けられるような):-痛み-外側部分の
- 1980# 損傷(外傷:落下・転倒、殴打・強打、など)-持ち上げること(筋肉の挫傷)から:(+持ち上げることによる損傷の傾向)
- 840# 不眠-目覚める、いったん眠った後に(再び眠ることができない)
- 1080# 全般-変質した感覚(感覚異常、偽性感覚):- ちくちく感(痺れのぴりぴり感)-単一部分にまるで痺れて無感覚になったような(痺れのぴりぴり感)
- 268# 上肢-手指

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Sil.	5	17	2	3	4	4	4				
2	Calc.	5	15	3	4	2	3	3				
3	Lyc.	5	14	2	3	1	4	4				
4	Rhus.	5	13	1	4	1	3	4				

レメディー選択_ (2024/11/24)

朝 アルポCalc.LM2(筋骨格系の弱さ)

昼 粒)Carc.30C(癌になりやすい傾向)

夜 アルポ逆さ燧の水30C(正しい細胞分裂や
癌細胞分裂抑制サポート)

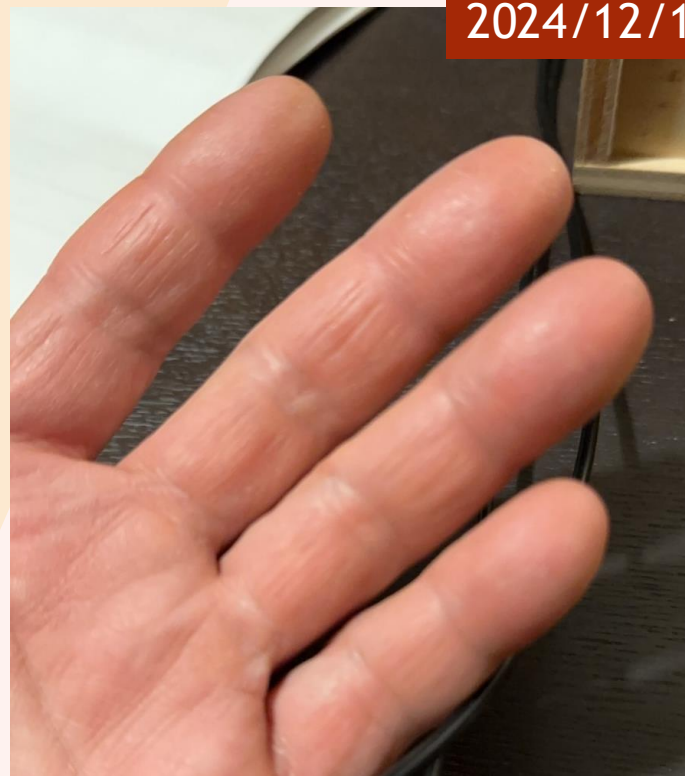
随時 液)サポート見捨て+Hypoth.12X +Pitu-g.l12X
+Pinral.12C +Thyr.12X +Ferr-p.12X(父親や
上司から見捨てられた感覚、体温の熱産生)

随時 粒)サポート血液循環(血液循環の改善に)

※2週間ごとQX-SCIOセッション(4回)

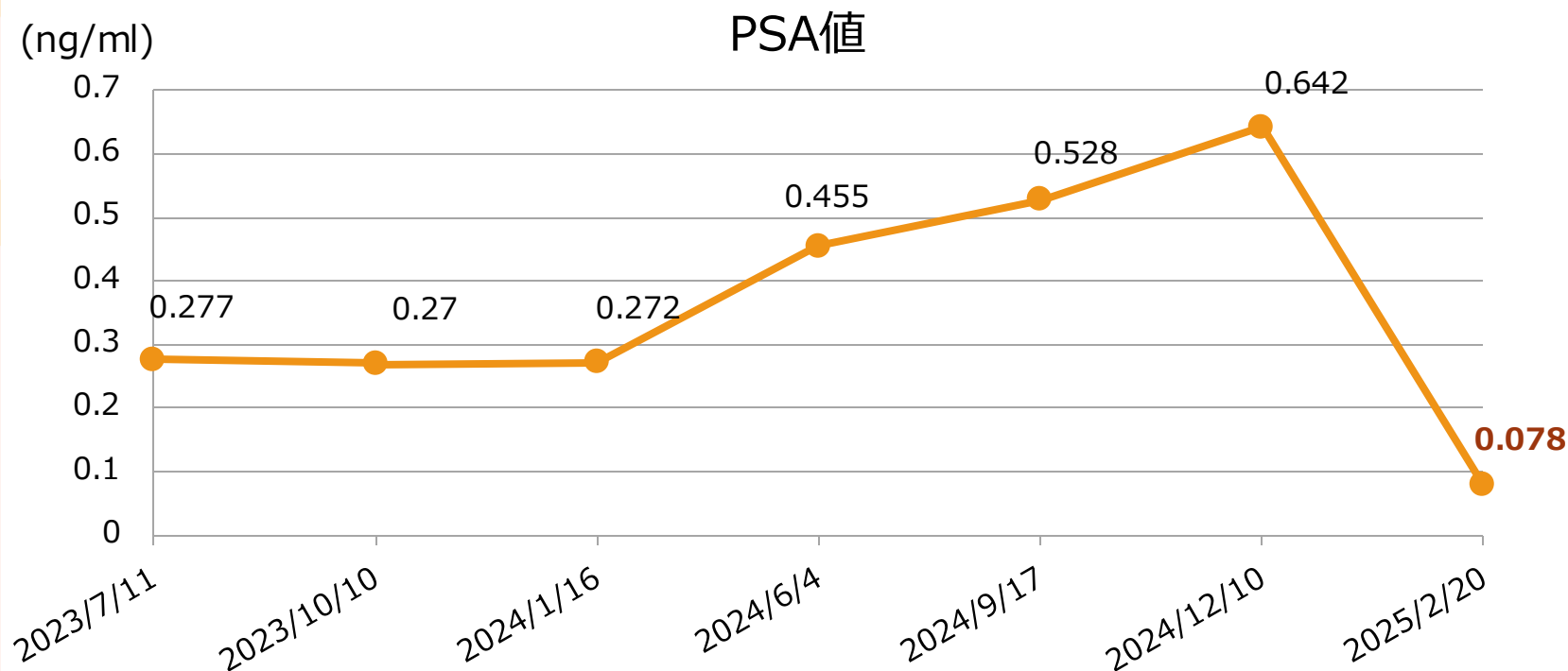
経過報告_(2024/12/10)

- 中指の白さが改善



検査結果_(2025/2/20)

- PSA値が0.642から0.078に減少
→医師によると予想以上の効果がみられたとのこと
- その他検査値もほとんど異常がみられなかった



結果

- 54歳で前立腺癌による摘出手術を受けたが、PSA値が2年前から上昇しはじめたため、2025年1月下旬よりホルモン剤を服薬しPSA値が0.078に減少
- 担当医によると「**予想以上の効果**」がみられた
- ホルモン剤の副作用として強いホットフラッシュが見られたが、ホメオパシー的なサポート(**レメディー**や**QX-SCIO**)により体への負担が最小限に抑えられていたように感じていた
- 血液循環を改善する目的で「サポート血液循環」を使用したところ、レイノー症状が約2週間で改善

考察

- 体内のホルモンバランスを整えるためのレメディーやミネラル補給のための飲料水で体調がよかった
- 今回のPSA値の低下は、ホルモン剤が効果的に作用した結果であると考えられるが、ホメオパシー的なサポートによりホルモン剤の副作用が最小限に抑えられていたと示唆される
- クライアントの奥様がホメオパシーを学んでおられることもあり、ご家庭内におけるホメオパシー的サポートが改善の一つの要因となったと考えられる



ご清聴ありがとうございました。

増田 敬子(ますだ たかこ)

日本ホメオパシーセンター東京本部

日本ホメオパシーセンター熱海伊豆山

<https://gokigenkan.com/>
yix04775@gmail.com